

ルーマニアから来る 鮮烈で官能的な『ルル』

演劇評論家 扇田昭彦

東欧のルーマニアから、鬼才シルヴィウ・ブルカレーテが演出するラドゥ・スタンカ国立劇場の『ルル』(フランク・ヴェデキント作)が来春の2月から3月にかけて、東京芸術劇場にやって来る。魅惑的な女優オフェリア・ポピが主演する、鮮烈で官能的で残酷な美しさにあふれた舞台だ(ルーマニア語上演、日本語イヤホンガイド付き)。

ブルカレーテ(1950年生まれ)はルーマニアを代表する演出の鬼才で、天才的な才能の持ち主。人間の暴力と欲望の世界を生々しく、冷徹に、視覚性豊かに描く舞台が多い。

ブルカレーテ演出の演劇はすでに90年代に二

度、東京グローブ座にきている。特に最初の来日公演『タイタス・アンドロニコス』(シェイクスピア作)はその野性的で残酷な演出で私たちを文字通り震撼させた。

現在のブルカレーテは特定の劇場に所属せず、ルーマニアの国内と国外で演劇、オペラの演出を幅広く手掛けている。中でも、07年にラドゥ・スタンカ国立劇場があるルーマニアの古都シビウでブルカレーテが演出した『ファウスト』(ゲーテ原作)はスペクタクル性に富む驚くべき大作で、シビウ国際演劇祭で毎年再演されるほか、イギリス、ドイツ、ベルギーなどでも上演された人気演目になっている。

今回の来日公演『ルル』は、『春のめざめ』などで知られるドイツの劇作家フランク・ヴェデキントの傑作で、『地霊』(1895年)と『パンドラの箱』(1904年)の2部作を一本にまとめた作品。アルバン・ベルク作曲の有名なオペラ『ルル』の原作でもある。

ブルカレーテの脚色・演出による『ルル』のルーマニア初演は08年で、私は2011年にシビウで観て、強い感銘を受けた。

この『ルル』は上演スタイルもユニークだ。馬蹄形をした小ぶりの舞台を、階段状の客席が三方



から間近に取り囲む。つまり、空間全体が解剖学教室のイメージ。ヒロインのルルの魅力に引き寄せられて破滅していく男女の悲喜劇を、まるで解剖医のメスのように精緻に、クールに描く舞台だ。今回は、東京芸術劇場のプレイハウスの舞台上に特設のステージと客席を組んで上演される。

主役のルルを演じるのは、ラドゥ・スタンカ国立劇場を代表する女優オフェリア・ポピ。30代だが、『ファウスト』で両性具有風のメフィストフェレスを好演するなど、どんな役も変幻自在に演じ切ってしまう、まるでルーマニア版大竹しのぶのような女優である。彼女はブルカレーテ演出の舞台の常連で、いつも大役を演じる。

ブルカレーテによれば、「オフェリア・ポピはルーマニアで最も優れた俳優の一人。『ルル』もオフェリアのために作った舞台だという。

オフェリアもブルカレーテについて、「想像力がすばらしい演出家。俳優たちに演技を指示する時も、わざとあいまいな言葉を使って、私たちの想像力を引き出す指導をしてくれる」と、今年の5月、シビウで熱心に語っていた。

ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場 ルル ルーマニア語上演・日本語イヤホンガイド付	
'13年2月27日[水]~3月3日[日] プレイハウス内特設ステージ	
作:フランク・ヴェデキント 演出・脚色:シルヴィウ・ブルカレーテ	2・3月 27日 28日 29日 30日 31日
出演:オフェリア・ポピ / コンスタンティン・キリアック ほか	13:00 14:00 19:00
チケット料金 【前売・当日指定】S席:6,500円/A席:6,000円 ※65歳以上:5,500円※25歳以下:4,500円 ※高校生割引:1,000円 ※A席を割引価格にてご購入いただけます。※前売のみ・枚数限定・要証明※高校生未満の方はご覧いただけません。 ※本作品には軽微の強いシーンがございます。予めご了承ください。 ※客席形状の都合上、開演後の入場は指定のお席へご案内できない場合がございます。 主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 東京都/東京文化発信プロジェクト(公益財団法人東京都歴史文化財団)	photos:Mihaela Marin

芸劇dance 勅使川原三郎ディレクション U18 ダンスワークショップ・プロジェクト **ダンサーRの細胞**

'13年1月26日[土] 15:00開演/19:00開演・27日[日] 13:00開演/17:00開演 シアターイースト



芸劇dance 世界のダンス・シーンを牽引する 勅使川原三郎との初タッグで始動

1980年代に既存のダンスの概念を超越する圧倒的な芸術性をもって鮮烈なデビューを飾って以来、自身のダンスカンパニーKARASとともに常に世界のコンテンポラリーダンス・シーンをリードし続けている勅使川原三郎。東京芸術劇場の新機軸“芸劇dance”で初の本格的タッグを組む勅使川原三郎のディレクション公演「ダンサーRの細胞」では、ヨーロッパでの評価も高く、近年の勅使川原全作品のメインパートを踊る佐東利穂子と急成長のKARAS若手ダンサーたち、そして本年9月から実施している「U18 ダンスワークショッ

ブ・プロジェクト」の10代のワークショップ参加者が出演します。ダンサーの身体性を固有の“細胞”のようにとらえ、さらなる新境地に挑戦する勅使川原と、勅使川原のメソッドを体現する若手精鋭そしてフレッシュな10代のダンサーがどのような鮮やかな化学反応を見せるのか?刺激的なダンス公演をお見逃しなく!

ヒトコト 古い細胞が死滅し新たな細胞に代わり生命は保たれる。無数の細胞が生命一個を保つ。一人の身体の中に無数の他人がひそんでいる。異常なほど鋭い感覚を有する身体内に解読不能な詩が響く。乱射する動作と感情。空気をきませる詩が響きわたる。佐東利穂子を中心にしたグループ作品。

勅使川原三郎

監修・演出・振付・美術・照明:勅使川原三郎

出演:佐東利穂子 / KARASダンサーズ / U18 ダンスワークショップ・プロジェクト参加者

チケット料金 | 【前売指定】一般:3,500円 / ※U18(18歳以下):1,000円 / ※65歳以上:3,000円 / ※25歳以下:2,500円 【当日指定】一般:4,000円 ※前売のみ・枚数限定・要証明書 主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

おのれナポレオン L'honneur de Napoléon

'13年1月26日[土] 発売開始

'13年4月9日[火]~5月12日[日] (4月6日・7日プレビューあり) プレイハウス



空前絶後 演劇界二大トップランナー 夢の顔合わせ!!

2004年、三谷が脚本を手掛けた大河ドラマ「新選組!」で勝海舟の役を演じたのが野田秀樹。これを機に親交を深めることになりました。

09年、野田が東京芸術劇場の芸術監督に就任。その際「芸劇がお客様で賑わい、演劇界の活性化のためにも、自分もできることはするので、三谷さんの力をぜひとも貸してほしい」との思いを伝え、互いの協力を約束したのです。11年には、三谷

作・演出の「ろくでなし塚木」(藤原竜也・中村勘太郎・吹石一恵出演、ホリプロ制作)を上演。そして密かに温められてきた、二人ががっぷり四つに組む企画が、遂に来春、満を持して実現します。

野田秀樹が、自ら作・演出しない舞台に出演するのは今回が初めて。全く異なる作風ながら、互いの作品に深い尊敬を寄せ合う二人からどんな新作が生まれるのか?

作・演出:三谷幸喜

出演:野田秀樹 / 天海祐希 / 山本耕史 / 浅利陽介 / 今井朋彦 / 内野聖陽

チケット料金 P:プレビュー公演料 | 【全席指定】S席:9,000円(P:8,000円) / ステージシート:9,000円(P:8,000円) / A席:7,000円(P:6,000円) / サイドシート:5,000円(P:4,500円) / ※65歳以上:5,000円(P:4,500円) / ※25歳以下サイドシート:3,000円(P:2,500円) / ※高校生割引:1,000円(対象日限定) ※前売のみ・枚数限定・要証明書
ステージシートは舞台上の両サイドに設けられる席です。詳しくは東京芸術劇場ボックスオフィスまでお問い合わせください。

4・5月 6日 7日 8日 9日 10日 11日 12日 13日 14日 15日 16日 17日 18日 19日 20日 21日 22日 23日 24日 25日 26日 27日 28日 29日 30日 31日	6日 7日 8日 9日 10日 11日 12日 13日 14日 15日 16日 17日 18日 19日 20日 21日 22日 23日 24日 25日 26日 27日 28日 29日 30日 31日
14:00	19:00

先行 発売 抽選受付開始 '13年1月5日[土]~

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) / TBS

K O J I O H K U R A 大倉孝二



「一人芝居」という 試練に挑む

いとうせいこうの伝説の舞台が

ケラリーノ・サンドロヴィッチの演出で蘇る

初めて挑戦する一人芝居、大倉孝二に熱い期待が集まる。

—— 今作は、いとうせいこう作、ケラリーノ・サンドロヴィッチ演出です。主演に抜擢された経緯は、実はKERAさんには10年前から、この一人芝居に出てくれて言われ続けていました。KERAさんはせいこうさんのこの台本が大好きで、僕に、いつやる?いつになったらやる?って。でも僕は一人芝居なんて絶対いやだと思ってましたから、ずっと断り続けていたんです。でもしつこさに負けた。一生言われ続けそうで怖くなったんです(笑)。

—— シティボーイズのきたろうさんが92年にこの役を演じられています。ご本人からはアドバイスをもらいましたか。

「一人芝居なんて辛いだけ」と言われました(笑)。芝居はたぶん、人と演じるから面白いんであって……そうじゃなければ毎日セリフとの戦い。精神的にも肉体的にも追い込まれるのはわかっています。きたろうさんに「俺より上手くできるもんならやってみよう!」と言われたときは、僕は「出来ません」と即答しましたし(笑)。でもこの話が決まって、周囲の人のほとんどが絶対観たい、と言ってくれるのは、ええっなんで?!……と思いますが、正直ありがたい。だから期待に応えられるようにヒロイックにならず、自分を保ち続けて頑張るつもりです。

—— ゴドーは神ではないかという解釈もありますが…

僕は普段から神をまったく意識しない人間の

で、作品の内容は僕にとってはなかなか難解で……。ただKERAさんであれば、わかりやすく面白く演出してくれるはずなので、それに素直に乗ろうと思います。そしてその演出をベースにアドリブも入れて、観客の皆さんに笑ってもらえればと。僕自身は基本はあまり笑わないし、自分を楽ませるのがうまくない。だからか、人にはたくさん笑って欲しいんです。

—— 腹をくくっての試練への挑戦、そんな印象です。あるときKERAさんに「失敗してもみんなどうせ忘れるから」と言われたとき、一人芝居に対してフツと気持ち楽になりました。言われて感じたのは、失敗してもいいんだという安堵感と、失敗するから無理ですという断り方がもうできないや、という諦め(笑)。実は今年20周年になるナイロン100℃ですが、そのオーディションは人生史上初の自分への挑戦でした。そして今回の節目でも、僕はまた挑戦することになったわけです。

—— 周囲は期待しています!!
……はい(笑)。まだまだ自分の中では不安だけですが、やるからには一生懸命やります。僕にとって……もしかするとKERAさんにとっても「挑戦」であり、「実験」の舞台になりますから、そんな舞台をぜひ観に来てください。

おおくら・こうじ 1995年、ナイロン100℃のオーディションに合格。以降、劇団公演以外にも2011年cubepresents『奥様お尻をどうぞ』(ケラリーノ・サンドロヴィッチ演出)、08年NODA・MAP『パイパー』、12年『エッグ』(野田秀樹演出)など外部公演にも多数出演。個性的な役柄で圧倒的な存在感を放つ。舞台以外に、ドラマ『デカワンコ』シリーズ(NTV)、『幸せになるうよ』(CX)、映画『アトロイト・メタル・シティ』(李闘士男監督)、『HEAVEN'S DOOR』(マイケル・アリアス監督)などに出演。最近では、NHKアニメワールド『へうげもの』で主役・古田佐介の声を担当するなど幅広く活躍している。

ゴドーは待たれながら '13年4月上旬 シアターイースト

作:いとうせいこう
演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ
出演:大倉孝二



主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/キューブ

iii×三 傑作3人芝居の3本立て、3×3シリーズ第2弾

3人芝居3本シリーズ

グループ・ぼるvol.20 片づきたい女たち '13年1月12日[土]~20日[日] シアターイースト



主催:グループ・ぼる

片づきたいのは、部屋ですか?それとも…
これまで120回以上上演してきた、グループ・ぼるの代表作。久しぶりに旧友3人が集まった部屋。長い間先送りにし、心の片隅に追いやってきたあの姿に、思わず自分がダブってしまうはず。それやこれやが目の前の問題を通して浮き彫りになっていく…。遂に心の闇と向き合うことになる3人の姿に、思わず自分がダブってしまうはず。

作・演出:永井愛
出演:松金よね子/岡本麗/田岡美也子

1月	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00		●	★	●		●		●	●
17:00	●								
19:00					●	●	●	●	●

チケット料金 【前売指定】一般:4,500円/※25歳以下:3,000円
【当日指定】4,700円
※プリエール・東京芸術劇場ボックスオフィスにて、前売のみ取扱い
【お問合せ】プリエール 03-5942-9025 (平日11:00~18:00)
★=アフタートークあり

eyes plus 「いつもと違う、をプラスする。」若手カンパニー再登場

eyes plus FUKAIPRODUCE羽衣 サロメ vs ヨカナーン '13年2月1日[金]~11日[月] シアターイースト



オリジナルの楽曲で繰り広げられる“妙〜ジカル”
ワイルドの様々な作品を取り込みながら、「サロメ」を大胆に脚色。互いを“サロメ”と“ヨカナーン”と呼び合うカップルたち。その間を一台のガラスのタクシーが通り抜けていく―「性・死・生・愛」ありふれた人間の営みを圧倒的な熱量と音楽で綴ります。

ヒトコト 池袋。僕は子供の頃西武池袋沿線に住んで、一番近い都会が池袋でした。まだ芸術劇場もなかった当時、西口はちょっと子供にはうかがい知れない、いや、子供だから感じられる、禍々しさに溢れていました。そんな池袋ですら、ちょっと子供にはうかがい知れない、いや、子供だから感じられる、そんな舞台を作りたいです。 糸井幸之介

プロデュース:深井順子 脚色・演出・音楽:糸井幸之介 原案:オスカー・ワイルド
出演:深井順子/日高啓介/鯉和鮎美/高橋義和/澤田慎司 ほか

2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
14:00			●				●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	休演	●	●	●	●	●

【チケット料金】【前売自由】一般:3,200円 ほか 【お問合せ】FUKAIPRODUCE羽衣 TEL:080-4460-8566 (11:00~20:00)
主催:FUKAIPRODUCE羽衣

eyes plus 劇団鹿殺し 音楽劇 BONE SONGS '13年2月15日[金]~3月3日[日] シアターイースト



劇団鹿殺しの原点「赤とうがらし帝国」を元に、新しい音楽劇が生まれる!
ハイテンポな展開にたみ掛けるような楽曲の数々、シンプルな舞台セットの中、役者の肉体を駆使したライブパフォーマンスにご期待ください!近年の鹿殺し作品において欠かせない存在になっている「楽隊」が「死者の楽隊」として舞台を盛り上げます!

ヒトコト 池袋と言えば東口の五叉路で週に2回は路上パフォーマンスしていた日々を思い出します。そんな甘酸っぱい池袋で、リニューアルほかほか劇場でロングラン公演できるなんてワクワクだなあ。疲れたときこそ必要な力のもらえる作品を持って、お待ちしております。ぜひお仕事帰りに通う演劇、見つけてくれるとうれしいです。 菜月チヨビ

作:丸尾丸一郎 演出:菜月チヨビ 音楽:入交星士/オレノグラフィティ
出演:菜月チヨビ、丸尾丸一郎、オレノグラフィティ、山岸門人、橋輝、傳田うに、姜暢雄、松村武 ほか

2・3月	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00			●	●	休演	休演			☆	●							☆
19:00	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★

【チケット料金】【前売・当日指定】一般:4,500円/学生券:3,200円(予約のみ、要学生証) 【お問合せ】株式会社 オフィス鹿 03-6804-0064
主催:株式会社オフィス鹿